単元名:特集「世界の高校生はいま」と題した学校新聞を発行

科目名	中国語	作成日		作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	_
話題分野	趣味と遊び	言語レベル	4	必要時間数	6時間

I単元目標

中国の高校生の余暇の過ごし方(遊びやアルバイト)についてネットや 書籍、SNSを利用した中高校生向けの交流ウェブサイトを利用して調 べ、学校新聞に発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる	0	0	0			
できる	()	0	6	(1)	6	(4)
つながる	(0)					

言語領域 文化領域 グローバル社会領域

- ◆SNSを利用した中高校生向けの交流ウェブ サイトを利用して、中国の高校生に尋ねること ができる。
- ◆学校新聞で発表された各国の高校生の生活を中国語で簡単にまとめ、姉妹校や文通相手の中国の友人、交流ウェブサイトで協力してくれた人たちに報告することができる。
- ◆日本の高校生の余暇の過ごし方について、地域・学校・男女・個人の違いに注意して中国語で発信することができ
- ◆中国の高校生の余暇の過ごし方について調べ、日本の高校生と比較することができる。
- ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。
- ◆都市部と農村部の違い、地域や民族による違いなどについて考慮しながら、調べたことをまとめて記事を作成することができる。 (知識理解、情報活用)
- ◆学級新聞が完成するよう、クラスの作業に 積極的に参加し、分担した役割を責任を もって遂行することができる。(協働)
- ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

【趣味と遊び】

4-b.相手の国における日本のポップカルチャーについて調べ、現地の若者がどのようにそれを受け入れているかについて、話しあうことができる。

4-c. 日本と相手の国の余暇の過ごし方について、インターネットなどで調べ、その結果を、口頭で発表したり、レポートにまとめたりできる。

4-d.自分や同世代が余暇にアルバイトをする目的や経験について、口頭または文章で説明できる。

4-e.現代社会の多様なライフスタイルに関する記事を読んで、労働と余暇について自分の意見を、レポートにまとめることができる。

コミュニケーション能力指標

★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している

Ⅲ 学習活動と評価

プレコミュニカティブ活動 (語彙・表現習得活動)

- ◆日本のポップカルチャー(アニメやマンガ、音楽、アイドルなど)が、中国の若者にどのように受け入れられているかについて、ネットや交流サイトなどで調べ、その結果をPC(パワーポイント)でまとめ、発表する。【4-b】
- ◆日本と中国の高校生の余暇の過ごし方について、書籍やネット等で調べたり、文通相手や留学生に聞いて、その結果をレポートにまとめる。余暇にアルバイトをするかどうか、その目的や経験についてアンケートをとってレポートに加える。【4-c,d】
- ◆現代社会の多様なライフスタイルに関する記事を読んで、労働と 余暇についてグループでディスカッションする。その後、自分の意見 をレポートにまとめて提出する。【4-e】
- ★【】内は対応するコミュニケーション能力指標

学習を助けるための評価 (形成的評価)

- ◆SNSを利用した中高校生向けの交流ウェブサイトを利用して、中国の高校生にたずねる。(ITスキル、簡体字表記・文法の正確さ、適切な表現など)
- ◆調べたデータを表やグラフでわかりやすく提示し、解説を書く。(内容の正確さ、情報量、ユニークさ、まとめ方など)

コミュニカティブ活動 (学習シナリオ)

<場面状況>

生徒会が発行している学校新聞で、「世界の高校生はいま」と題する特集を組み、各国の高校生のライフスタイル、余暇の過ごし方について調べ、発表することになった。

<活動の流れ>

中国の高校生の余暇の過ごし方(遊びやアルバイト)についてインターネットや書籍で調べる。SNSを利用した中高校生向けの交流ウェブサイトで日本の高校生のライフスタイル、余暇の過ごし方について地域・学校・男女・個人の違いに注意しながら中国語でまとめたものを提示し、中国の高校生に直接質問する。中国の高校生に関するデータを読むときには、都市部と農村部の違い、地域や民族による違いなどについても考慮する。

調べたデータを表やグラフでわかりやすく提示するとともに解説を書く。学校新聞で発表した各国の高校生の生活を簡単にまとめ、交流校や文通相手の中国の友人に送るとともに、交流ウェブサイトで協力してくれた人たちに報告し、感想を語り合う。

ヒントロ

◆中国の高校生とネットワークが築けない場合、中国のケーブルテレビ放送局や、中国をテーマにした雑誌編集者などに、広く中国の流行について聞き、最後にまとめを送る。

<目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)>

◆学校新聞(中国語にまとめた特集記事)を作成する。(内容の正確さ、情報量、ユニークさ、まとめ方など)

<使用教材・教具>

(ネット利用可の)PC、国民生活時間調査(NHK放送文化研究所世論調査部編『日本人の生活時間 2005』日本放送出版協会)

教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋
交流ウェブサイト、中国の高校生、生徒会	現代社会、地理、歴史